

教育長室

令和5年第4回港区議会定例会の質問について
(教育長答弁)

代表質問

清原 和幸議員（自民党議員団）

- 1 世界の恒久平和に向けた学校教育について 【教育指導担当】
- 2 国際人育成の更なる推進に向けた支援について 【教育長室】
- 3 海外修学旅行の実施について
(1) 実施の意義の説明について 【教育指導担当】
(2) 代替となる国内修学旅行の実施計画について 【教育指導担当】
- 4 就学援助制度について 【学務課】
- 5 区立小・中学校給食費の保護者負担軽減策について 【学務課】

さいき 陽平議員（みなと未来会議）

- 1 区立学校における学力支援体制について
(1) 校内塾について 【教育指導担当】
(2) 英会話アプリについて 【教育指導担当】
(3) オンライン英会話について 【教育指導担当】
(4) 大使館と連携した国際交流事業について 【教育指導担当】
(5) AIドリルの導入について 【教育指導担当】
- 2 不登校について
(1) 適応指導教室つばさについて 【教育指導担当】
(2) 学びの多様化学校について 【教育指導担当】
- 3 スポーツをする場所の確保について 【生涯学習スポーツ振興課】
- 4 学校給食について
(1) 保護者負担軽減策について 【学務課】
(2) 給食の質について 【学務課】
- 5 学校教育現場でのサポートについて 【教育指導担当】

野本 たつや議員（公明党議員団）

- 1 中学生の防災教育について 【教育指導担当】
- 2 公立校の進路対応について
(1) 児童・生徒、保護者の進路の希望に対する体制について 【教育指導担当】
(2) 今後の小中一貫教育校の設置の見通しについて 【教育人事企画課】

- 3 保護者への対応策について 【教育人事企画課】
- 4 有機農産物の試験導入について 【学務課】
- 5 特別支援教室の充実について 【教育指導担当】

山野井 つよし議員（みなと政策会議）

- 1 給食費の保護者負担軽減策の拡大について【教育長室（学務課）】

一般質問

ませ のりよし議員（自民党議員団）

- 1 幼稚園の子育て支援について
 - （1）子育てサポート保育の時間延長について 【学務課】
 - （2）長期休業中の一時預かり事業の時間見直しと実施園拡大について 【学務課】
- 2 学校施設開放における校庭の夜間照明について
【生涯学習スポーツ振興課】

やなぎわ 亜紀議員（自民党議員団）

- 1 学校給食費保護者負担軽減策の延長と決定時期について
【学務課】
- 2 区立幼稚園について
 - （1）今後の区立幼稚園の在り方について 【学務課】
 - （2）幼稚園型認定こども園の設置について 【学務課】
- 3 区立小学校の修学旅行について 【教育指導担当】
- 4 区立の中高一貫教育校の設立について 【教育人事企画課】

丸山 たかのり議員（公明党議員団）

- 1 幼・小中一貫教育を生かした区立幼稚園の魅力向上の取組について
【教育指導担当】

福島 宏子議員（共産党議員団）

- 1 給食費の保護者負担軽減策の拡大について【教育長室（学務課）】

令和5年第4回港区議会定例会の質問について

代表質問

議員名(会派名)	清原 和幸議員(自民党議員団)
質問項目 【担当課】	1 世界の恒久平和に向けた学校教育について 【教育指導担当】
質問要旨	世界の各地域で民族や宗教に伴う様々な隔たりや争いが起こっています。世界の恒久平和に向けた学校教育について教育長の所見を伺います。
答弁内容	<p>平和教育は、自他を尊重し合い、我が国の社会や文化に対する理解と愛情を深めるとともに、国際協調の視点に立ち、恒久平和を願い国際社会に貢献できる人材を育成するものであり、現在の国際情勢を踏まえると、重要な教育課題の一つであると捉えております。</p> <p>現在、区立小・中学校では、我が国の戦争の惨禍について学ぶことのみならず、児童・生徒の発達段階に応じて、世界各地で起きている紛争や、それに伴う人道的支援などについても教科横断的に学ぶ機会を設け、国際社会における平和を希求する態度の育成を図っております。</p> <p>今後、教育委員会では、JICA(ジャイカ)などの国際協力機関とも連携し、次代を担う子どもたちが、国際貢献の視点を持ち、広く平和を考える機会の創出について、検討を進めてまいります。</p>
質問項目 【担当課】	2 国際人育成の更なる推進に向けた支援について 【教育長室】
質問要旨	国が本年8月に「せかい×まなびのプラン」として掲げた、グローバル人材の育成を強化していく方針も踏まえた国際人育成の視点での支援について、現在の検討状況を伺います。
答弁内容	<p>教育委員会では、本年8月、国が「せかい×まなびのプラン」で示したグローバル人材の育成を強化していく方針と軌を一にし、中学生から大学生等まで、公私立を問わず、港区の子どもたちが海外留学に挑戦することを応援したいと考えております。</p> <p>具体的には、実際に海外に留学した方の体験談による動機付けや、海外の大学進学に向けた国内外の奨学金制度の情報提供のほか、経済的な支援の必要性も含め、幅広い視点で検討を進めております。</p> <p>世界で活躍する真の国際人育成のための取組をさらに強化してまいります。</p>
質問項目 【担当課】	3 海外修学旅行の実施について (1)実施の意義の説明について 【教育指導担当】
質問要旨	区民に海外修学旅行の意義を納得して頂くとともに、理解が深まる説明をすることが必要だと考えますが、いかがでしょうか。
答弁内容	<p>教育委員会は、海外修学旅行について区民にお知らせすることを目的とし、今月15日に、区ホームページ内に海外修学旅行の概要を公開し、意義や行程等について周知をしております。</p> <p>今後は、プロポーザルや海外修学旅行検討委員会などを経て、事業者や研修プログラムなどが決定した際に、区ホームページを活用して、随時お知らせしていく予定です。</p> <p>また、海外修学旅行の実施の様子や実施後の成果についても、区ホームページやSNSを通じて区民の皆様にご案内してまいります。</p>

質問項目 【担当課】	(2)代替となる国内修学旅行の実施計画について 【教育指導担当】
質問要旨	不測の事態が生じた時に海外旅行を代替する国内の修学旅行が実施できるよう、実施計画を検討しておくべきと考えますが、教育長の所見を伺います。
答弁内容	現在、教育委員会では、生徒が安全で安心して海外修学旅行に臨めるよう、管理職や教員、教育委員会事務局で構成する海外修学旅行検討委員会等で、一つひとつ課題を解決しながら準備を進めております。 災害や海外の情勢などによって、渡航することが困難となった場合の対応策も検討する必要があると考えております。 急遽の受入れが可能で、各学校の目的に応じた修学旅行を実施できる国内の行先等について、中学校長会からも意見を聞きながら検討を進めてまいります。
質問項目 【担当課】	4 就学援助制度について 【学務課】
質問要旨	就学援助支度金などに関して、具体的にどのような形で支援を進めていく予定なのか、教育長の見解を伺います。
答弁内容	海外修学旅行の実施に伴い、国内修学旅行では発生しないパスポート取得費や外貨交換費用などの新たな保護者負担が生じるとともに、準備費用の増額が見込まれます。そのため、教育委員会では、就学援助受給世帯の生徒が費用負担を理由に参加を諦めることがないように、修学旅行支度金の増額を予定しております。 また、パスポートの取得手続きを早期に進めていただく必要があるため、修学旅行支度金を中学2年の3学期に事前支給する方向で検討してまいります。
質問項目 【担当課】	5 区立小・中学校給食費の保護者負担軽減策について 【学務課】
質問要旨	一日も早く、学校給食の無償化を実現してほしいと考えますが、区の実現状況について伺います。
答弁内容	本年9月から来年3月まで実施している区立小・中学校給食費不徴収については、現下の物価高騰が続いている中、保護者負担が増加しないよう、継続について検討してまいります。 また、引き続き国に対し、学校給食費無償化の実現を要望してまいります。

議員名(会派名)	さいき 陽平議員(みなと未来会議)
質問項目 【担当課】	1 区立学校における学力支援体制について (1)校内塾について 【教育指導担当】
質問要旨	民間事業者を活用した「放課後塾」の導入は、公立、私立問わず、大きく進んでいる状況です。港区において、校内学習塾を導入する考えがあるか、区の見解を伺います。
答弁内容	昨年、教育委員会が実施した学校教育推進計画改定に向けたアンケート調査において、中学生の学齢期の子を持つ保護者の多くは、区立中学校に対し、「受験対策・進路指導」の充実を求めていることが分かりました。 現在、各中学校においては、生徒の実態に応じて補習を行うなど、学力向上に向けた取組を行っております。 教育委員会として中学校ごとに塾を導入することは予定しておりませんが、来年度に向け、より多くの生徒の進路選択の支援を強化する取組について検討してまいります。

質問項目 【担当課】	(2)英会話アプリについて 【教育指導担当】
質問要旨	経済産業省の補助金を活用し、試験的導入から始めるべきと考えますが、区の見解をお聞かせください。
答弁内容	教育委員会は、ICTを活用した英語力を育成するため、白金小学校をモデル校として、学習者用タブレット端末を使用する英語教材アプリケーションの効果検証を実施しました。検証を通して、児童が、よりネイティブに近い発話ができるようになったことや、自信をもって英語で伝えあう姿が見られるようになったことから、区独自に、全ての小学校で英語教材アプリケーションを学習者用タブレット端末で使用できるよう検討を進めております。
質問項目 【担当課】	(3)オンライン英会話について 【教育指導担当】
質問要旨	港区が実施している「放課後英会話教室」の対象は中学3年生のみですが、中学1・2年生も対象の範囲とすることで、さらに子どもたちに喜ばれる事業になると考えます。区の見解を伺います。
答弁内容	中学校3年生を対象とした放課後オンライン英会話教室では、これまでの英語科・英語科国際等の成果を生かし、積極的に英語で発話することを通して、実践的コミュニケーション力の向上を図っております。本事業は、受験対策の一環として実施していることから、中学校1・2年生に対象を広げて実施することは予定しておりません。また、オンラインによる自宅での実施については、生徒同士で教え合いながら学習することで成果が上がっていることから、今後も学校での受講を基本といたしますが、引き続き、取組の成果を検証しつつ、よりよい実施方法について研究をしてまいります。
質問項目 【担当課】	(4)大使館と連携した国際交流事業について 【教育指導担当】
質問要旨	大使館との連携事業は一日限りのイベントのようなものが多く、独自の予算枠をとっているわけではありません。予算枠を確保し、民間の教育団体、NPOと連携し、プログラムを委託することによって充実させていくべきだと考えます。区の見解を伺います。
答弁内容	各学校では、港区の地域特性を生かし、近隣の大使館への訪問や、学校に大使館職員を招き、各国の生活様式や伝統文化についての講話や体験学習を通して、児童・生徒が、海外や日本の文化を理解する教育活動を行っております。教育委員会では、各学校が、実態に応じて大使館との連携を進めていることから、連携のプログラムを外部委託することは考えておりませんが、引き続き、全ての学校で大使館との交流を通して、児童・生徒が、異文化を直接体験する機会を重視した教育を展開し、国際理解教育の更なる充実を図ってまいります。
質問項目 【担当課】	(5)AIドリルの導入について 【教育指導担当】
質問要旨	現在では、東京都でも世田谷区や足立区といった自治体で、全小中学校でのデジタルAIドリルの導入が進んでいます。港区もデジタルAIドリルを導入すべきと考えますが、区の見解を伺います。
答弁内容	現在、各学校では、各学年が使用している紙のドリル教材に準拠したデジタルドリルを導入し、授業中ではもとより家庭での学習で積極的に活用しております。また、教育委員会では、児童・生徒がタブレット端末を活用し、個々の学力に適した問題に取り組み、知識の習得を効率的に行うことができるよう、一部の中学校をモデル校としてAIドリルを使用した検証を実施いたしました。検証では、生徒が、自分の習熟度にあった問題に意欲的に取り組む姿が多く見られるなどの成果が得られました。この検証結果をもとに学習効果を一層高めることができるよう、AIドリルの小・中学校への導入について研究を進めてまいります。

質問項目 【担当課】	2 不登校について (1)適応指導教室つばさについて 【教育指導担当】
質問要旨	適応指導教室つばさの”適応指導教室”という名称を改め、子どもたちの個性を尊重した居場所・学びの場を、より拡充させていくべきと考えますが、区の見解を伺います。
答弁内容	適応指導教室は、不登校児童・生徒への適切な相談や指導による在籍校への復帰を目的としているため、名称変更は考えておりませんが、通室している児童・生徒の復帰が困難な場合は、個々の状況に応じて、つばさ教室で安心して過ごすことを優先した個を尊重した対応をしております。 教育委員会では、学校内の新たな居場所づくりとして、東京都の事業を活用し、区立学校3校をモデル校とした「校内別室」を実施しており、不登校傾向のある児童・生徒の多様な実態に応じた体制を整えております。 引き続き、教育委員会は、これらの取組により、不登校児童・生徒の学びの場を確保するなど、児童・生徒一人ひとりに寄り添った支援を行ってまいります。
質問項目 【担当課】	(2)学びの多様化学校について 【教育指導担当】
質問要旨	「不登校特例校」改め「学びの多様化学校」の設置を港区で実現していくべきと考えますが、区の見解を伺います。
答弁内容	不登校の要因は、複合的なケースが多く、一度、不登校となると、学校への復帰が困難となる場合が増加しております。 こうした状況において、学びの多様化学校を設置することは、不登校児童・生徒一人ひとりに応じた、特別なカリキュラムの少人数授業の実施により、確実な学びの機会の創出につながるものと考えております。 現在、教育委員会では、学びの多様化学校の設置についての検討を進めております。
質問項目 【担当課】	3 スポーツをする場所の確保について 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	運動施設の確保の必要性がますます高まる中、区民の満足度を高めるためにも、これまで以上にスポーツのできる施設の環境整備に取り組むべきと考えます。今後の取組について、区の見解を伺います。
答弁内容	教育委員会では、北青山三丁目地区市街地再開発事業において、新たなスポーツ施設の整備に取り組むほか、学校施設開放事業では、本年12月の使用から開放時間枠を細分化するなど、より多くの方にご利用いただけるよう、運用を見直しました。 本年8月には、区内企業であるJX(ジェイエックス)金属株式会社と連携協力協定を締結し、現在、企業が保有する剣道場の活用について協議を進めております。 引き続き、スポーツができる身近な場所を広く周知するとともに、企業・大学との連携や、区外の運動施設の活用検討など、区長部局とも連携し、様々な手法を用いて、運動施設の確保、充実に努めてまいります。
質問項目 【担当課】	4 学校給食について (1)保護者負担軽減策について 【学務課】
質問要旨	給食費の無償化の恒久化に向け確実に、来年度も給食費の無償化が実現するよう求めます。現時点でどのように考えているか、答弁を求めます。
答弁内容	現下の物価高騰が続いている中、保護者負担が増加しないよう、来年度の学校給食費不徴収の継続について検討してまいります。 また、引き続き国に対し、学校給食費無償化の実現を要望してまいります。

質問項目 【担当課】	(2)給食の質について 【学務課】
質問要旨	給食の「質の確保」のため、全校生徒を対象とするアンケート調査及びニーズ調査を行うことについて、区の見解をお聞かせください。
答弁内容	<p>教育委員会は、質の高い給食を提供するため、日頃から、子どもの食への関わりや意見、課題の把握に努めております。</p> <p>具体的には、学校給食は学校別で献立を立てていることから、各学校栄養士を中心に、給食提供の際に児童・生徒の食事の様子の確認や声掛けを行い、給食や食生活に関する生の声を聴くことで子どもたちの食の好みや食生活の課題を把握し、日々の献立作成に生かしております。</p> <p>今後も、アンケート調査を各学校で実施するなど、様々な意見聴取の機会を活用し、学校別の献立に生かすことで、給食の質の向上を図ってまいります。</p>
質問項目 【担当課】	5 学校教育現場でのサポートについて 【教育指導担当】
質問要旨	性自認について悩んでいる生徒が安心して相談できるようにするなど、学校教育現場でLGBTQの自認がある子どもたちをサポートする体制が必要だと考えます。区の見解をお聞かせください。
答弁内容	<p>教育委員会では、教員が、LGBTQの自認がある児童・生徒に適切にサポートができるよう、人権教育研修会において、性の多様性に関する講演を実施し、教員の理解増進を図っております。</p> <p>各学校では、性に関する悩みを打ち明けた児童・生徒に対して、担任や養護教諭、スクールカウンセラーによる相談を随時実施するなど、児童・生徒の個別の悩みに対応する体制を整えております。</p> <p>また、学校で性に関する悩みを相談しづらい児童・生徒に対し、教育センターで電話や面接での相談も行っております。</p> <p>今後も、LGBTQの自認のある児童・生徒が一人で悩みを抱えることがないように、誰もが相談できる多様な体制があることを全ての児童・生徒に周知してまいります。</p>

議員名(会派名)	野本 たつや議員(公明党議員団)
質問項目 【担当課】	1 中学生の防災教育について 【教育指導担当】
質問要旨	毎年、お台場地区で行われる総合防災訓練では、港陽中学校の生徒たちが「Jr.防災チーム」として、主体となって運営に携わっています。全港区立中学校で、Jr.防災チームの結成に取り組むべきと考えますが、区の見解を伺います。
答弁内容	<p>現在、教育委員会では、全ての中学校で生徒の自助・共助の精神を醸成するため防災教育を教育課程に位置付けております。</p> <p>これを受け、各中学校では、生徒が災害時に的確な判断のもとに、自らの安全を確保するための行動ができるよう、各地区総合支所、地域防災協議会、警察、消防等の関係機関と連携し、学校や地域の実態に応じた防災訓練を計画的に実施しております。</p> <p>今後は、お台場学園の取組のような好事例を全校に改めて周知することで、各学校が地域の一員として取り組んでいる地域の防災力向上のための取組が、さらに充実するよう支援してまいります。</p>

質問項目 【担当課】	2 公立校の進路対応について (1)児童・生徒、保護者の進路の希望に対する体制について 【教育指導担当】
質問要旨	港区の教育環境のさらなる充実のため、教育委員会は、児童・生徒、保護者の進路の希望に応える体制をどのように作っていくのでしょうか。
答弁内容	現在、教育委員会は、生活保護及び就学援助受給世帯の中学3年生を対象とした「学びの未来応援学習講座」を実施しており、基礎学力の定着を通して、生徒の進路実現を支援しております。 受講している多くの生徒が、講座に意欲的に取り組み、希望の進路を実現しております。 このような生徒の実態に加え、学校教育推進計画改定に向けたアンケート調査によって、受験対策に対する保護者のニーズの高さが明らかになったことから、より多くの生徒の進路選択につながる取組の実施を検討してまいります。
質問項目 【担当課】	(2)今後の小中一貫教育校の設置の見通しについて 【教育人事企画課】
質問要旨	今後の小中一貫教育校設置の見通しについて、教育長にお伺いします。
答弁内容	教育委員会は、平成22年開校の「お台場学園」をはじめ、学校施設が隣接し、かつ通学区域が一致している小・中学校を、小中一貫教育校として開校してまいりました。 開校した3校の施設一体型の小中一貫教育校は、校長のリーダシップのもと学びの連続性を担保するとともに、小・中学校の連携強化を図ることができております。 こうした小中一貫教育校の利点を踏まえ、来年度、御成門小・中学校を母体とする「御成門学園」を開校いたします。 小中一貫教育校ならではの児童・生徒間の交流や教職員の連携強化などを通して、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育み、健やかな成長につなげてまいります。
質問項目 【担当課】	3 保護者への対応策について 【教育人事企画課】
質問要旨	有為な人材である教員を疲弊から守るため、強固な主張を繰り返す保護者に対し、主張の真意を探り解決への道筋を探るための事例を共有する機会の創出や、組織的な体制づくりについて、教育長のお考えを伺います。
答弁内容	各学校は、これまで子ども同士のトラブル等、解決が困難な保護者からの相談や要望に対し、指導主事や学校法律相談制度により配置されている弁護士とともに対応してきました。 また、こうした困難な問題を解決した事例については、副校長研修会などの教員研修で情報を共有し、保護者からの相談や要望への対応力を高めております。 教育委員会では、来年度から、人員確保業務など、学校管理職の負担を軽減する新たな人材を区独自に任用することを予定しており、これまで以上に学校管理職が教員とともに強固な主張を繰り返す保護者に対応できる組織的な体制づくりを進めてまいります。
質問項目 【担当課】	4 有機農産物の試験導入について 【学務課】
質問要旨	国の「有機農業推進総合対策緊急事業」という補助制度を活用し、学校給食への有機農産物の試験的導入を検討すべきと考えますが、区の見解を伺います。
答弁内容	学校給食における有機農産物の活用は、有機農業の環境保全効果を子どもたちに伝える食育として期待できるため、現在も食材納入事業者からの仕入れ情報等により、一部食材で使用しております。 有機農業推進総合対策緊急事業については、有機農産物市場や流通事業者の拡大に効果が期待できる一方、食材納入事業者や取扱い事業者等の関係者による協議会設置や合意形成が必要となるなどの課題もあります。 本事業の実施状況について注視していくとともに、より多くの有機農産物を提供できるよう調達方法等を工夫し、学校給食の充実を図ってまいります。

質問項目 【担当課】	5 特別支援教室の充実について 【教育指導担当】
質問要旨	特別支援教育の更なる充実を図るためにも、通級で指導を行う巡回指導員とクラス担任との連携強化が必要と考えますが、区の見解を伺います。
答弁内容	教育委員会では、年5回実施している特別支援教育担当者会において、巡回指導教員と学級担任との連携強化を目指し、各学校の取組の好事例を共有しております。 さらに、各学校に配置されている特別支援教室の円滑な運営に関する業務を担う特別支援教室専門員が、巡回指導教員と学級担任との橋渡しをする役割を担い、個別の課題に応じた指導の充実に努めております。 今後は、巡回指導教員と学級担任が対面だけではなくオンラインでも情報を共有できる体制を整えることで、連携をさらに強化し、特別支援教室の充実を図ってまいります。

議員名(会派名)	山野井 つよし議員(みなと政策会議)
質問項目 【担当課】	1 給食費の保護者負担軽減策の拡大について 【教育長室(学務課)】
質問要旨	国立、都立、私立学校やインターナショナルスクールに通う小・中学生の保護者負担の軽減策について、区のお考えをお聞かせください。
答弁内容	区立小・中学校の給食費保護者負担軽減策は学校設置者として実施し、また、都立特別支援学校は在籍する児童・生徒が区立学校に副籍を有することから、これに準じて実施を予定しているものです。 区内にある私立小・中学校では、小学校2校中1校が給食を実施し、中学校は全12校とも給食を実施していない状況であり、区外の国立、都立、私立学校等においても様々です。 こうした実態も踏まえ、私立学校等に在籍する児童・生徒の保護者に対する負担軽減策については、それぞれに課題を整理し、子どもへの総合的な支援の在り方の中で、検討してまいります。

一般質問

議員名(会派名)	ませ のりよし議員(自民党議員団)
質問項目【担当課】	1 幼稚園の子育て支援について (1)子育てサポート保育の時間延長について 【学務課】
質問要旨	現在の子育てサポート保育の延長時間を保育園の時間と同等程度にできないか、区の見解をお聞きします。
答弁内容	区立幼稚園では、保護者ニーズを踏まえ、今年度から、全園で子育てサポート保育の実施時間を30分延長し、午後5時までとしました。 さらなる時間延長については、保護者ニーズの一方で、「教育課程に基づく活動を考慮し、幼児期にふさわしい無理のないものとなるようにする」という国の幼稚園教育要領の趣旨も踏まえ、幼稚園教育にふさわしい保育時間を検討してまいります。
質問項目【担当課】	(2)長期休業中の一時預かり事業の時間見直しと実施園拡大について 【学務課】
質問要旨	中之町幼稚園で試行的に行われている夏季冬季休業期間の一時預かり事業の、実施園の追加予定について、また、現在15時までとなっている預かり時間延長の見直しと実施園拡大について、区の見解をお聞きします。
答弁内容	今年度、中之町幼稚園で試行的に実施した夏季休業中の一時預かり事業では、全ての実施日で定員を超える利用希望がありました。 また、全園の保護者を対象としたアンケートにおいても、利用を希望する声が多くあったことから、現在、実施園の各地区への拡大を検討しております。 一方、長期休業期間は、園児が普段できない体験や、地域の人々との交流を体験する貴重な機会となる、教育的な意義もあることから、現在午後3時までの預かり時間の延長については、引き続き適切な時間設定を研究してまいります。
質問項目【担当課】	2 学校施設開放における校庭の夜間照明について 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	校庭利用の場合、冬季の17時以降は暗くなり、照度不足のためボール等が見えなくなり、安全性の面からも照明の必要性があります。校庭施設開放における夜間照明設置について、区の見解を伺います。
答弁内容	現在、学校施設開放では、青山中学校及び芝浜小学校の校庭に夜間照明設備を設置し、開放しております。 また、夜間照明を設置していない学校においても、近隣住民等に配慮しながら、防犯灯設備等を活用し、冬場の薄暗い夕方も校庭を利用いただけるように工夫しております。 引き続き、安全にスポーツができるよう最新の照明設備の導入も検討し、夜間開放の充実に取り組んでまいります。

議員名(会派名)	やなざわ 亜紀議員(自民党議員団)
質問項目【担当課】	1 学校給食費保護者負担軽減策の延長と決定時期について 【学務課】
質問要旨	ぜひ給食費の無償化を延長していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。また、決定の可否はいつ頃を目処とされるのかもお聞かせください。
答弁内容	本年9月から来年3月まで実施している区立小・中学校給食費不徴収の継続については、現下の物価高騰が続いている中、保護者の負担が増加しないよう、可能な限り早期に判断してまいります。

質問項目 【担当課】	2 区立幼稚園について (1)今後の区立幼稚園の在り方について 【学務課】
質問要旨	港区立幼稚園の著しい定員割れの状況が続いています。区立幼稚園の存在意義、適正な園舎数など、在り方について整理し長期的に計画すべき時期が来ているのかもしれませんが。今後の区立幼稚園について、区はどのように考えているのか、お聞かせください。
答弁内容	教育委員会では、区立幼稚園の園児数の減少を踏まえ、教育委員会事務局内に「区立幼稚園のあり方検討会」を設置し、区立幼稚園の魅力向上策や教育環境の充実に向けた定員の見直しを検討するとともに、区立幼稚園の役割の確認や、園児募集停止の考え方を整理してまいりました。 引き続き、より多くの方に入園を検討していただけるよう、教育活動の充実や保護者ニーズを捉えた魅力の向上に取り組むとともに、人口動向や幼稚園入園需要を的確に把握し、区立幼稚園の今後の在り方についても検討してまいります。
質問項目 【担当課】	(2)幼稚園型認定こども園の設置について 【学務課】
質問要旨	子育て世帯の保護者から、認定こども園を望む声は多くあります。区立幼稚園においても預かり保育の時間拡大や、夏休みの預かり保育の実施、お弁当の配達をしていくようであれば、いっそのこと幼稚園型認定こども園を港区でも設置すればいいのではないかと考えますが、いかがでしょうか。
答弁内容	区立幼稚園の認定こども園への移行については、令和2年度にまとめた「区における今後の認定こども園施策の方向性」において整理をしております。 その中では、「幼稚園だからこそ通わせたい」「幼稚園の方針や教育内容で入園を決めた」という幼稚園固有のニーズも踏まえつつ、開園時間延長や開園日数増加に伴う職員体制の確保、給食実施等に伴う設備・スペースの確保等、課題もあることから、当分の間、移行を実施しないこととしております。 引き続き、社会情勢の変化を注視するとともに、移行への課題を改めて整理し、他自治体の事例等、調査研究してまいります。
質問項目 【担当課】	3 区立小学校の修学旅行について 【教育指導担当】
質問要旨	中学校で実施していた奈良・京都等の修学旅行が海外修学旅行に変更となることでなくなるのであれば、その修学旅行を小学校時に行えば良いのではないのでしょうか。見解をお聞かせください。
答弁内容	6年生で実施している移動教室は、箱根の豊かな自然環境に加え、歴史や伝統・文化、産業などについても体験的に学ぶ貴重な機会となっております。 箱根の関所や小田原城など歴史的価値のある場所を中心として、街の成り立ちや人々の生活の変化、寄木細工など、今に続く伝統文化について事前に児童が調べ、現地での体験的な活動を通して理解を深めております。 移動教室に代えて修学旅行を実施することは予定しておりませんが、引き続き、様々な機会を捉えて我が国の歴史や文化について深く学ぶ機会を充実させた上で、海外修学旅行へとつなげてまいります。
質問項目 【担当課】	4 区立の中高一貫教育校の設立について 【教育人事企画課】
質問要旨	港区立の中高一貫教育校の設置は、公立中学校の魅力向上に繋がることはもちろんのこと、高校生の居場所作りや留学支援もしやすくなると思います。見解をお聞かせください。
答弁内容	6年間の連続したカリキュラムを通して、学習や部活動に打ち込める環境で学び続けることができる中高一貫教育校は、生徒や保護者にとって、魅力のあるものと認識しております。 一方、区独自に中高一貫教育校を設立することについては、教員の採用や学校施設の確保など様々な課題があるため、引き続きの研究課題としてまいります。 今後、教育委員会は、公私立問わず、区内の高等学校と区立中学校の連携の在り方についての検討を進め、区立中学校の教育環境の一層の充実に向けてまいります。

議員名(会派名)	丸山 たかのり議員(公明党議員団)
質問項目【担当課】	1 幼・小中一貫教育を生かした区立幼稚園の魅力向上の取組について 【教育指導担当】
質問要旨	区立幼稚園が保護者に選ばれていくためにも、幼・小中一貫教育の質を高め、その魅力の情報発信を強化すべきと考えます。幼・小中一貫教育を生かした区立幼稚園の魅力向上についてどのように取り組まれるつもりか、教育長に伺います。
答弁内容	現在、中学校区を単位とした幼稚園、小・中学校のアカデミーでは、幼児の小学校入学体験や教員同士の研修会、交流活動等を通して、教育の質の向上を図っております。一例をあげますと、港南幼稚園での小学生と合同の運動遊びや、にじのはし幼稚園での小・中学生と合同での地引網体験など、各幼稚園で特色ある活動を推進しております。今後は、こうした取組を広く区民に発信するとともに、現在、高輪幼稚園と麻布幼稚園でモデル事業として派遣しているネイティブティーチャーの全園への派遣を検討してまいります。

議員名(会派名)	福島 宏子議員(共産党議員団)
質問項目【担当課】	1 給食費の保護者負担軽減策の拡大について 【教育長室(学務課)】
質問要旨	私立・国立の学校、インターナショナルスクールなど、どこに通っていても平等の支援を求めます。教育に格差があってはなりません。答弁を求めます。
答弁内容	区立小・中学校の給食費保護者負担軽減策は学校設置者として実施し、また、都立特別支援学校は在籍する児童・生徒が区立学校に副籍を有することから、これに準じて実施を予定しているものです。私立学校等に在籍する児童・生徒の保護者に対する負担軽減策については、それぞれに課題を整理し、子どもへの総合的な支援の在り方の中で検討してまいります。